

CPI（腐敗認識指数）：2013年、腐敗は世界中に広がっている

[ベルリン、2013年12月3日]

トランスペアレンシー・インターナショナル（TI）は、2013年のCPI（腐敗認識指数）で、権限の濫用、裏取引、贈収賄が世界中で社会をむしばみ続けていると警鐘を鳴らしている。

0（腐敗度が高い認識）から100（腐敗度が低い認識）までの得点で表わすと、世界177か国のうちの3分の2の国が50点以下である。

「2013年のCPIから、いまだに世界のすべての国々で、地方における許認可から、中央政府による法の施行と規制まで、あらゆるレベルにおいて、腐敗があることがわかる」と、TIの理事長ユグット・ラベルは述べている。

2013年CPIの結果

2013年のCPIでは、デンマーク、ニュージーランドが91点で一位だった。アフガニスタン、北朝鮮、ソマリアは8点で、最下位にランクされた。

「高得点の国々は、透明性が高ければ説明責任が果たされ、腐敗を抑止することができることを証明しています。ただし、得点の高い国々においても、国家による篡奪、選挙における資金供与の問題があり、大規模公共調達はいまだ主な腐敗の温床であり続け、いかに監視するかという問題に直面している」とラベルは述べる。

CPIは公共部門の腐敗における専門家の意見が基になっている。国別の得点は情報へのアクセスし易さや公人の行動を規定するルールがあれば高くなり、反対に公共の制度が非効率で説明責任が欠けていれば低くなる。

公共部門の腐敗は全世界的なイニシアティブを損ねてしまう脅威である

公共部門内での腐敗は依然として、世界が解決すべき課題である。特に政党、警察、裁判制度のような分野で顕著であるとトランスペアレンシー・インターナショナルは考える。公共機関の職務は国民に向かって開かれているべきで、公務員は自らの意思で透明性を高

めていかなければならない。腐敗に関する捜査や起訴は依然として困難である。

気候変動、経済危機、貧困問題への取り組みは、腐敗という障害物によって大きく阻まれている、とトランスパレンシー・インターナショナルは警告する。G20 のような国際機関は、資金洗浄を取り締まり、企業にさらなる透明性を求め、収奪された資産の返還を追求しなければならない。

「今こそ、腐敗行為を行っても罰せられない状況を止めなければならない。法的な抜け穴があったり、政府にその意思がなかったりすれば、国内および国境をまたがる腐敗が助長される。また、腐敗に関わった者が罪に問われない状況と闘っていかなければならない」とラベルは述べる。

日々の世界的な腐敗防止運動の更新については、
ツイッター（<http://www.twitter.com/anticorruption>）もしくは、フェイスブック（<http://www.facebook.com/transparencyinternational>）でフォローしてください。

CPI2013 のより詳細な情報については、ツイッターのハッシュタグ#stopthecorrupt をフォローしてください。

トランスパレンシー・インターナショナルは、腐敗との闘いをリードする市民社会団体です。

T | 本部 問い合わせ先

Chris Sanders

Tel: +49 30 34 38 20 666

press@transparency.org